

紙加工品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	納品先倉庫内にて、被災者、リフトマン、共同作業員（3名）の5名で荷降ろし作業を開始。リフトマンがパレット積みされた製品をフォークリフトで倉庫2階（高さ約3m）へ持ち上げ、被災者はパレットから製品を一旦2階フロアに降ろす作業を行い、共同作業員3名、リフトマン（最後のパレットだった為、2階で作業を手伝う）の4名でそれを納品場所に積み込む作業を行っていた。パレット上の製品を半分ほど積み替えたところで、共同作業員が物音に気づき、1階部分を覗き込んだところ、被災者がフォークリフト横に墜落していた。	32～	100 299
3	16～17	廃棄物を箱から廃棄用コンテナに移し替える作業を行っていた際、フォークリフトで所定位置にセットした後、塵埃の入った箱を傾げるべく高さ80cmの天板付の脚立を登って行ったが、2段目のステップで足を滑らせてしまい、腰から落下し転倒した。その際に肩も打ったが特に異常は感じず、その後も勤務を継続していた。しばらくして左腕や左足にしびれを感じるようになり、慢性硬膜下血種と診断された。	74～	10 29
5	14～15	当社事業所内において、1階製造現場内の、4号機給紙作業を終え、踏み台から降りる時に体のバランスを崩し転倒し、左足首及び脹脛、左腕を捻り負傷した。当日は大したことがないと思い、自宅にて療養していたが、痛みが酷くなった。	53～	10 29
5	10～11	取引先にて納品作業中、2tトラックの荷台（高さ約1m）より誤って転落し負傷した。	46～	10 29
	9～	プレス機ベアラー付近で作業をしていたとき、雑誌を運んできたフォークリフトに		10

7	10	押され、ベレーピットに落下した。	48	～ 29
11	9～ 10	会社構内にて、積み込み作業中に、トラック荷台の荷物を並べるため地面から高さ約90cmの荷台に乗り込もうとした際に、アスファルトの地面に右半身から転倒した。ヘルメット、安全靴着用していた。	61	～ 29
12	9～10	当社工場にて、圧縮した古紙に巻くための番線が絡まり、脚立（1.7m）へ上り補修作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、首と腰を負傷した。なお、番線は約3mの高さの所に通っている。	36	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)